

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
新型コロナウイルスの不安に押しつぶされそうな毎日、いかがお過ごしでしょうか。日々更新される情報をもとに、冷静に、穏やかに行動できればと思います。
このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

- 1 種苗法「改定」の中止を求める請願署名にご協力ください
- 2 奈良市「給食ができるまでのおはなし」冊子完成

■ 1 ■ 種苗法「改定」の中止を求める請願署名にご協力ください

農水省は、2018年3月末をもって廃止した「主要農作物種子法」に加え、今国会で「種苗法改正案」を成立させる方針です。

「改正案」は、これまで原則として農家に認められてきた登録品種の自家増殖を「許諾制」にすることで事実上一律禁止し、農家のタネ取り（自家増殖）の権利が著しく制限されることとなります。同時に許諾手続き・費用、もしくは種子を毎年購入しなければならないなど、日本の農業を支える圧倒的多数の農家にとっては新たに大きな負担が発生します。

「改正案」は、在来種（一般品種）は育成者権の対象外としていますが、今後、一般品種が登録される可能性も否定できません。（農水省が定める「自家増殖禁止の品目」は、2016年の82種から2019年には387種まで急拡大しています。）

今回の「改正案」は、育成者権者（品種登録により発生する権利を持つ者）にとっては大変有利である一方、農家を委縮させ、在来種の栽培やタネ取りを断念させる可能性もあります。また、多様な種子が失われ、消費者の選ぶ権利を奪うことにもなりかねません。

自家増殖禁止は、地球規模での気候変動による食料不足が心配される中、食料自給率の低い日本においては食料安全保障の観点にも逆行しています。ぜひ署名へ

のご協力をお願いします。

※ご協力いただける場合は、ご記入後呼びかけ団体住所へ郵送してください。

詳しくはこちら <http://www.nouminren.ne.jp/>

■ 2 ■ 奈良市「給食ができるまでのおはなし」冊子完成

奈良市の給食のおはなしが、約1年かけて作ってきた「給食ができるまでのおはなし」冊子がついに完成しました。給食がどんなふうに進んでいくのか、保護者が調べたり体験してみた1年間の記録です。

学校給食をめぐるっては、地産地消、オーガニック給食、無償化など様々な切り口からより良い給食を求める動きが活発化しています。私たちも、地産地消や添加物の少ない給食、メニューに関しても「理想の給食」とはどのようなものか考え続けています。その中で、まずは現状の給食はどのようにできていて、関わる人たちはどのような思いで働いてくださっているのか、それを知ることからスタートしようと思ったのが今回の冊子です。奈良市教育委員会事務局保健給食課の多大なるご協力のおかげで実現しました。

奈良市保健給食課ホームページに掲載いただきましたので、ぜひご覧ください。

<https://www.city.nara.lg.jp/site/school-lunch/64480.html>

また、印刷されたものがご入用の場合は下記メールにご連絡ください。

● 来月もお楽しみに♪ ●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー! (奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (奈良市今市町 40-1)
